

令和8年度 内子高等学校 シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2単位	学 年	2 学年
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)		副教材等	家庭科ノート (愛媛県高等学校家庭科教育研究会) 調理実習ノート基礎編 (愛媛県高等学校家庭科教育研究会)			

1 学習の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を養う。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	第1章 生涯を見通す	- 自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 - 生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、様々な生き方について理解する。 - 高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える。 - 誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。	期末考查
	第2章 人生をつくる		
	第4章 超高齢社会を共に生きる		
	第5章 共に生き、共に支える		
第2学期	第6章 食生活をつくる	- よりよい食習慣を身に付け、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。 - 私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 - 持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。	期末考查
	第7章 衣生活をつくる		
	第10章 持続可能な生活を営む		
第3学期	第9章 経済生活を営む	- 自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。 - 命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。 - 生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支え、生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。	期末テスト
	第3章 子どもと共に育つ		
	第8章 住生活をつくる		

3 評価の規準

【知識・技能】

生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

【主体的に学習に取り組む態度】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

4 評価方法

家庭科ノート、レポート、ワークシート、学習プリント、実験・実習レポートなどの評価について、定期考査後に評価します。

5 学習のアドバイス

家庭クラブ活動に積極的に参加しましょう。ホームプロジェクトを通して問題解決能力を身に付け、家庭生活の充実を図りましょう。よりよく生活をするためにはどうすればよいか考え、実践していきましょう。